

第 16 回 食べる☆デイミーティング議事録

会場 : デイサービス百合

参加者: 五島先生、登世子先生、(初)小林剛さん、山本さん、門脇さん、神崎さん、清谷さん(DS 百合)、佐藤社長、後藤さん(K-W)、坪山さん(ふあ)、牛尾さん、瀧口さん(あお)、(初)岡澤さん(小春 DS)、竹田、松山(りっ)

あおぞら実施報告

前回評価からの変化を記録。それによって以下のような変化を見て取ることが可能となった。

- ・立ち座り体操を取り入れたことによって、クラス分けに改善の変化が見られた
- ・義歯調整によって改善された方も発見
- ・クラス分けの際、29回と30回の線引きで違和感を覚えた

Q、せんべいテストを「歯が痛いから」という理由で 1/8 の大きさに実施したが

A、アウト判定で良い。

- ・何故かという理由を記載しておけば、次回の評価に繋がるのではないか。
- ・せんべいテストが 72 回から 24 回と数値的に改善と見られるが、認知症がある方で運動の成果かは分からない
- ・認知症の方が、薬の変更による影響で食事摂取状況に改善が見られたケースがあった
- ・MNA14 思っていたよりも高い数値⇒ 客観的評価が出来ている証。個人の変化が見て取れるのは貴重なデータ。

デイサービス百合実施報告(五島先生がクラス分けを実施) 今回初実施。

【デイサービス百合】 10名定員 手作りの食事をワンプレートで提供。

- ・大型スーパーの隣という立地を活かし、利用者様と買い物にも出掛け、利用者様と共に調理を行う
- ・管理者神崎さんが訪問介護に異動。それに伴い、小林剛さんが後任の管理者に

(表の順番に対応し)

- ・②の方(C 判定)は、認知症の進行と意欲低下が見られる。体重は増加傾向。自宅では 1 時間半掛けて食事をしている。せんべい 69 回。歯のグラグラを気にして弄りながらだった。
- ・⑫⑮⑯の方は、ほとんど歯がなく義歯も使用していない。
- ・⑪の方、食べるのはすごく早いのにせんべいテストが 69 回。見られているのを意識していた所為かも。

・⑬の方、水飲みxは、トロミを使用する方なので実施せず。肺炎になり Dr からトロミの指示。固形物は百合でしか食べていないが「それが楽しみ」として咽ながらも 30～40 分かけ半量程度摂取される。

～実施した感想～

- ・せんべいテストは数の数え方が難しかった(マンツーマンで正面から、下顎の上下動で計測)
- ・体重が多い方が多い(皆さんよく食べている)
- ・体重増加傾向が多い⇒ 食べる意欲に働き掛けが利いているのではないか。
- ・スプーンは訴えがない限り提供していない。極力お箸で。

初参加 【小春デイサービス】(落合・中野) 定員(11名・21名)

仕出し弁当をレンジで温めて提供。 禁食や形態など、柔軟に一人分からも対応してもらえる。

- ・食事自体に問題のある方は現在それ程見られないが、中野の事業所では飲み込みが悪くなった方が居る。
- ・全盲で難聴もあり全介助。ADL は立ち上がりが可能で歩行訓練を行う。
- ・現状テスト実施が難しいが、今後は必要と考える。

～その他～

現在、食事介助必要者は？

- ・ふぁみりい：一人 固い物が食べられず介助。ムース食に変更したら自立になったというケース。
- ・りつくる：一人 認知症準寝たきりの状態でコミュニケーションが困難。拒否も頻繁に見られる。ムース食。
- ・笑み：0人 食具の変更で自立に繋がったケースがある。

～まとめ～

- ・あおぞら発表では、それぞれの変化が表にまとめられ、圧倒的に見易い。
- ・A～D 評価、自分の事業所の利用者様のクラス分け比率を把握しておくことは、スタッフにとって必要なこと。
- ・「“変化”を現場で感じられるか?!」は重要。変化があったケースは是非考察して欲しい。

次回会場：りつくる 3/23(水)19:30～